

仏壇からの挑戦状 実施の手引き

○この謎解きは以下の状況を想定して作成しております。

- ・対象年齢 小学生以上（低学年のみでは難易度が高いです）
- ・1チーム4人（推奨）
- ・全体の進行（司会者）1名～
- ・所要時間約70分（1チーム4人の場合）
- ・印刷はカラーでの印刷を推奨しています。
- ・人数分の鉛筆と消しゴムを用意してください。
- ・QRコードを読み込んで、動画を再生することの出来る機器を用意してください。（機器を用意できない場合は、法話の原稿がありますので、その紙を渡していただき、一緒に読んでいただくか、司会者の方が法話をしてください。）

○子供への注意事項

- ・みんなで協力すること
- ・問題用紙を大切に扱う
- ・答えがわかってもし大きな声で言わない（隣に聞こえてしまうから）

○司会者の方へ

- ・必ずご自身で一度解いてから、司会進行をしてください。
- ・各問題に目安の時間が設定してありますので、半分以上が過ぎた場合は、適宜ヒントを与えてください。
- ・複数の問題が出題される際には分担して行うよう伝えてください。
- ・問題を解いた際に、どうしてその答えになったのかチームの人に伝えておくよう促してください。
- ・最後にどうしてこの答えが出たのか全員でおさらいしていただければと思います。

○基本的な進行の流れ

- ・1チームごとに謎解きを用意し、各問題の答えを問題用紙に記入。それを司会者のもとに持ってきてもらい、正解ならば次の問題用紙を渡していくことで進んでいきます。
- ・各ゲームには目安の所要時間と難易度が設定してあります。問題横の仏様が難易度の表示ですので、低学年の子には仏様一つの問題を振り分けていただければと思います。また、実際に進行するにあたって時間内に解けない場合もあります。目安時間の半分以上を過ぎたら、適宜ヒントを与えてください。

○進行表

1. 表紙と1.2ページ目を各チームに配布し読んでもらう。
2. 2ページ目の問題を解き、答えを記入したら司会者のところに持ってきてもらう。(目安15分)
3. 記入された答えが正解ならば、3ページ目と8つの問題用紙(4~11ページ)を渡す。(問題の分担を促してください。)
4. 各問題の答えを3ページ目に記入してもらい、司会者のところに持ってきてもらう。(目安20分)
5. 正解ならば12ページ目の紙を渡す。
6. 12ページ目に問題の答えを記入し、司会者のところに持ってきてもらう。(目安10分)
7. 正解ならば13、14ページ目を渡す。
8. 14ページ目に問題の答えを記入し、司会者のところに持ってきてもらう。(目安15分)
9. 答えが「まつのきのしたをほれ」ならば15ページ目を渡して、再度問題に挑戦してもらう。答えが「いつでもどこでもだれでも」ならば、16ページ目を渡して、他のチームが終わるまで待機してもらう。※参照。
10. 全チームが解けたら、動画(5分程度)を再生してください。
(動画が再生できない場合は、法話の原稿を渡し一緒に読んでいただくか、「いつでもどこでもだれでも」とは阿弥陀様のお心であるという旨のご法話をしてください。その後、17ページ目を渡してください)
11. 以上で謎解きは終了となります。

※最終問題に関しては、10ページ目の「オテラの下を読め」という問題のように、全問題用紙内のカタカナのイトムの下を読むと「まつのきのしたをほれ」となります。しかしこの答えは、正しいものではありません。この答えを記入して持ってきた場合は、15ページ目の紙を渡し、もう一度問題に挑戦してもらってください。本当の解き方はカタカナのイトムを合わせて「仏」と読み、全問題用紙内の仏様のマークの下を順に読むことによって、「いつでもどこでもだれでも」という答えが導き出されます。